

発生日時	平成 21 年 7 月 29 日 (水) 15 時 0 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事		
被災の状況	性別	年齢	職種
	-	-	-
被災の程度	CCTV用ケーブル切断、道路照明用電源ケーブル切断他		
事故概要	鋼矢板圧入作業中、埋設してあった各種ケーブルを切断した。		

事故発生状況



- ・事前に図面を入手し、試掘を行った。
- ・試掘の結果、各種ケーブルが埋まっていることを確認し、既存図面上に埋設状況をプロットした。
- ・施工時に **古い図面(プロットした図面とは異なるもの)** を使ってしまったため各種ケーブルに気が付かず、切断してしまった。
- ・結果、気象情報センサー1基不通、道路照明灯8基不点灯、プリンカーライト5基不点灯の公衆損害が発生。

【事故発生原因】

・元請け・下請け業者間の情報共有不足によるもの。

【事故防止のポイント】

・工事開始前の工事関係者間での **情報共有**。など

発生日時	平成 21 年 9 月 3 日 (木) 14 時 30 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	橋梁フランジ損傷	
事故概要	橋脚の床版撤去をするため、コンクリートカッターにて作業中、誤って床版下のフランジ部分まで切断してしまったもの。				

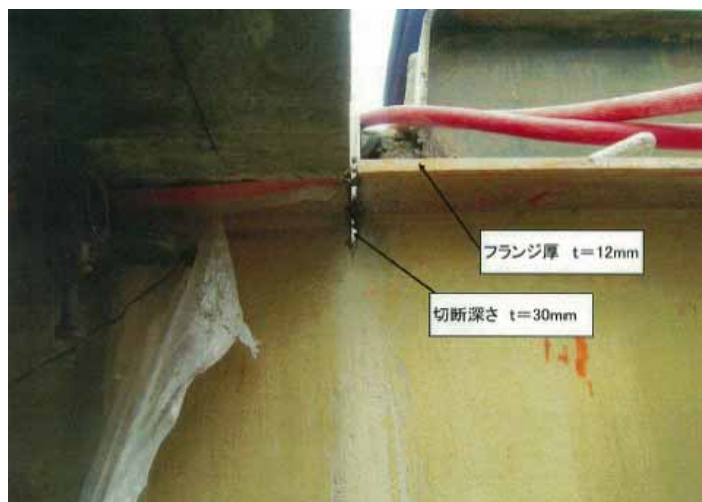
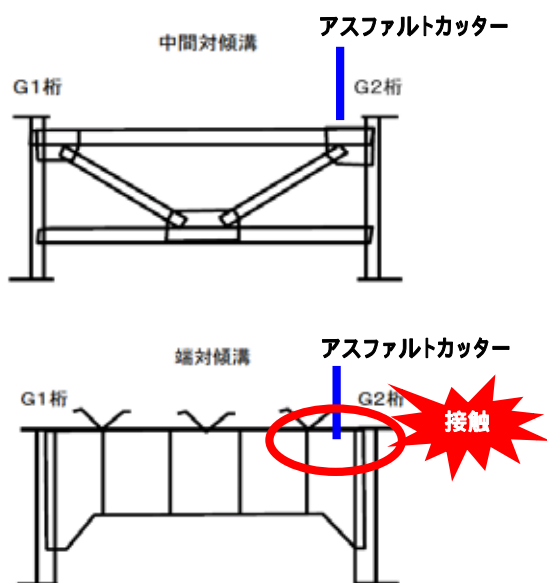
被災状況写真



・橋梁の4車線 6車線工事のため、歩道部分の床版をコンクリートカッターにて切断していた。

・当初は30cmの刃で行うことになっていたが、部分的に厚いところがあったため、作業員の判断で40cmの刃に交換して施工を続けた。

・図面で確認は行っており、作業当日のミーティングでも指示を行っていたが、実際の作業員がその**指示を忘れてしまっていた**ことから発生。



フランジ(12mm) + ウェブ(30mm)を切断

【事故発生原因】

・切断厚の変更を**作業員の独断**で行ったこと。

【事故防止のポイント】

・作業手順を周知・徹底すること。
・想定外の事案が生じた場合、必ず報告を行うこと。 など

発生日時	平成 21 年 9 月 18 日 (金)			9 時 25 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 維持工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	ロードヒーティングの放熱管切断		
事故概要	ロードヒーティング部の路面補修をする際、ハンドカッターにて放熱管を切断してしまったもの。					

事故発生状況



作業前写真



損傷直後写真



路面補修に用いたハンドカッター

・コンクリート舗装箇所にクラックが生じたため、ハンドカッターを用いて路面補修を行った。(作業前写真参照)

・10cmの深さまでカッターを入れたところ、**ロードヒーティングの放熱管に接触し切断してしまい不凍液が流出。**(放熱管は土被り5cmに埋設してあった。)

【事故発生原因】

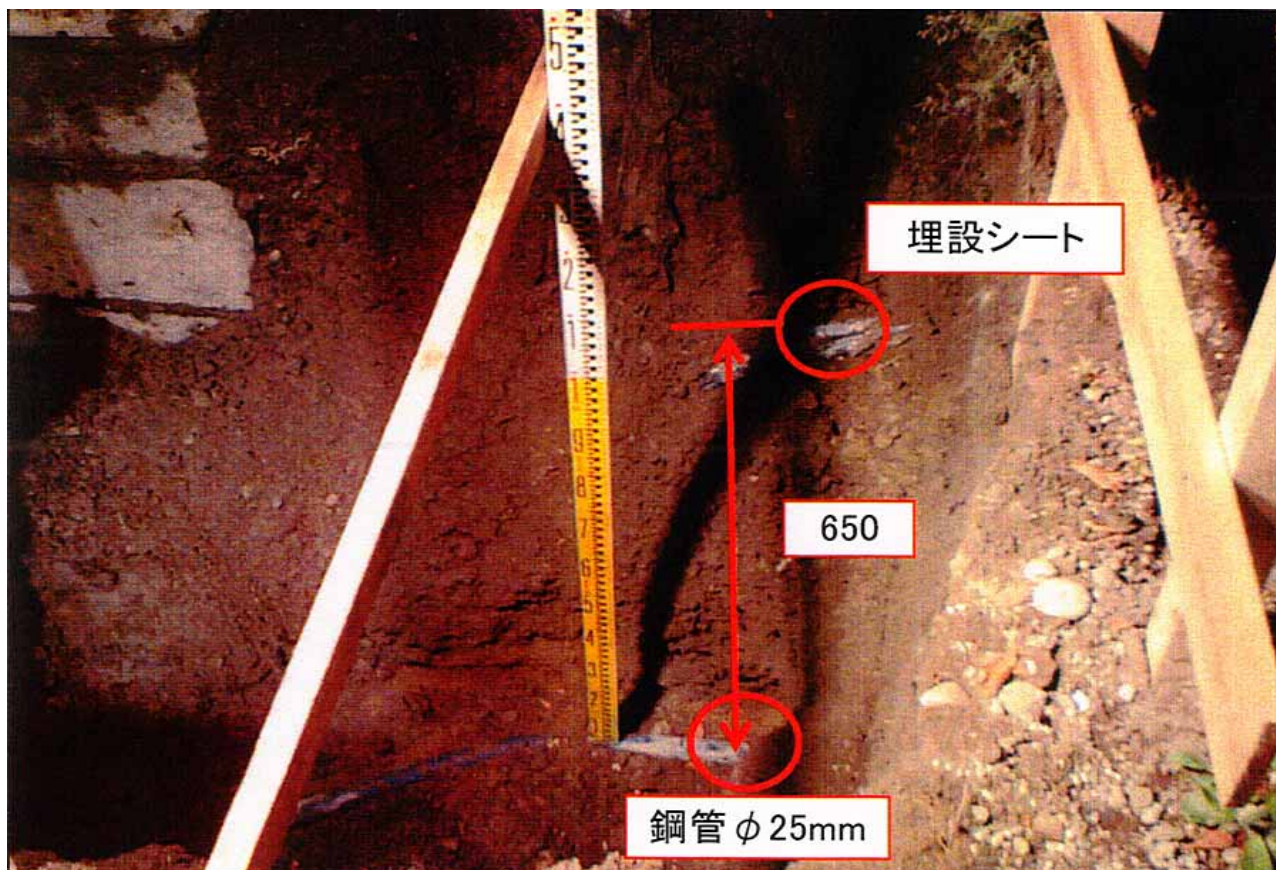
・地下埋設物についての事前確認がなされていないこと。

【事故防止のポイント】

・地下埋設物が予想される箇所については、作業に先立ち、**図面等で埋設物位置の確認**を行うこと。

発生日時	平成 21 年 10 月 29 日 (木) 15 時 10 分			天候	晴
工事情報	公園系事務所 造園工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	散水用の給水管 (25) 損傷	
事故概要	汚水柵を新設するため、周辺をバックホウで掘削中、埋設されていた給水管にバックホウの爪が接触し、漏水が発生したものを。				

事故発生状況(断面図)



- ・前日に位置出しした箇所をバックホウ(0.2m³)を用いて掘削を開始した。
- ・深さ650mmのところ埋設シートを発見したので、その後は手掘りにて作業を継続。
- ・**人力にて集積した土砂をバックホウにてかき上げた**ところ、埋設されていた給水管 (25mm) に接触し、漏水が発生。
(土砂をかき上げる際、**バックホウの爪が給水管に接触**し、接続部が抜けた。)

【事故発生原因】

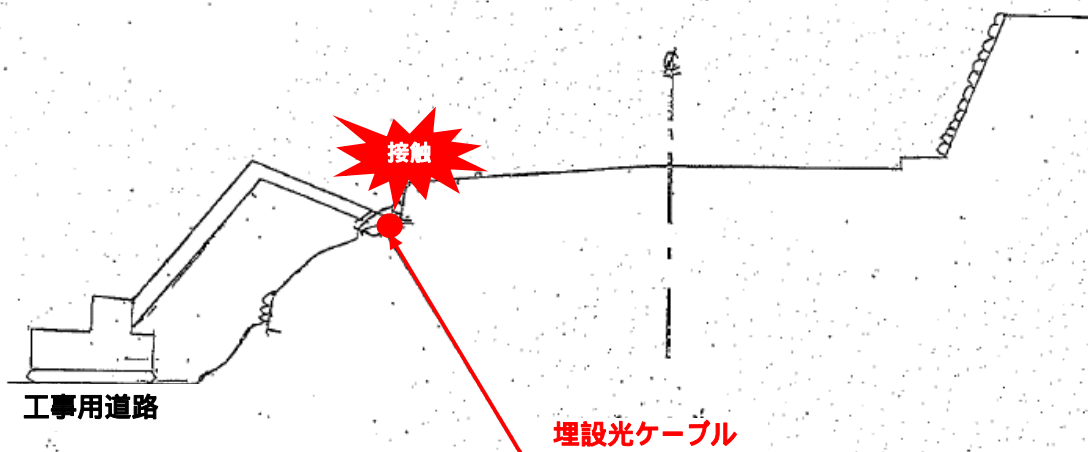
- ・地下埋設物の存在を把握していたにもかかわらず、**不用意にバックホウを用いて作業を継続した**こと。

【事故防止のポイント】

- ・地下埋設物が想定される箇所・周辺では**不用意に重機は用いない**。
- ・**人力にて掘削した土砂は安全な箇所に集積させる**。 など

発生日時	平成 21 年 11 月 4 日 (水) 10 時 15 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	事務所光ケーブル(カメラ)切断	
事故概要	歩道設置用の組み立てブロック設置のため、掘削作業を行っていたところ、誤って埋設してあった光ケーブルを切断してしまったもの。				

事故発生状況(断面図)



・工事施工前、光ケーブル埋設位置を確認。
 ・丁張りを設置して、掘削範囲を示していたが、掘削ラインを超えて作業を行ってしまった。

【事故発生原因】
 ・掘削方法の周知が不十分だった。

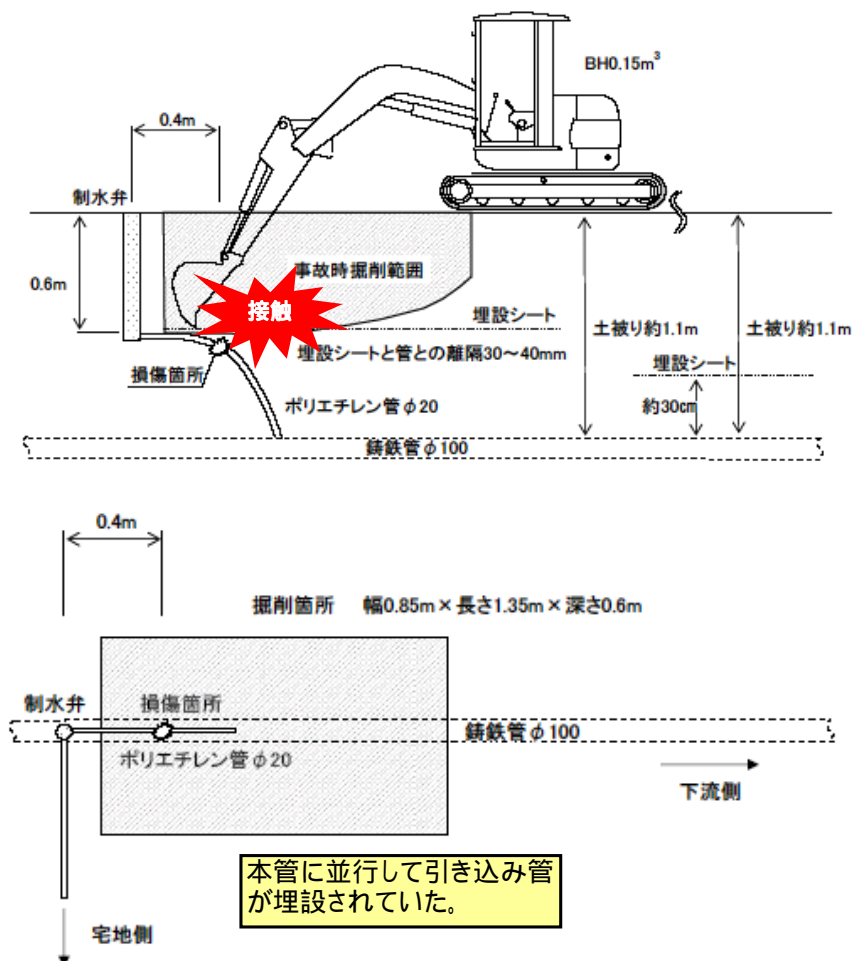


損傷箇所

【事故防止のポイント】
 ・当日の作業内容の周知・徹底
 ・バックホウ操作位置から離れた場所を掘削する際は**刃先監視人を配置する**。
 など

発生日時	平成 21 年 11 月 13 日 (金) 11 時 30 分	天候	曇
工事情報	道路系事務所 一般土木工事		
被災の状況	性別	年齢	職種
	-	-	-
事故概要	被災の程度		
	水道管(引き込み管 20)を損傷		
事故概要	水道管(引き込み管)の確認のための掘削作業中、誤って引き込み管を破損させたもの。		

事故発生状況



・施工計画では、50cmまでは機械掘り、その後は手掘りで試掘する予定だった。
 ・周辺の掘削状況を踏まえ、80cmまでは機械掘り、その後は手掘りで行うことにした。
 ・結果60cmのところ引き込み管に接触し、漏水が発生。
 (引き込み管の存在は事前に把握していたが、上図のような配管状況は想定していなかった)

【事故発生原因】

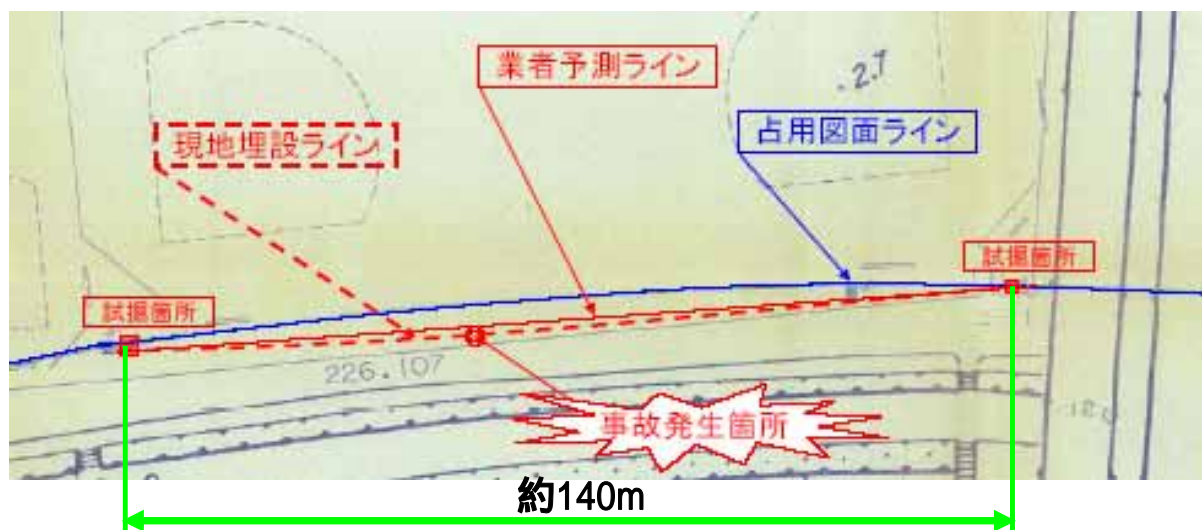
・監督員と事前協議を行わず、その場の判断で、施工計画以外の方法で作業を行ったこと。

【事故防止のポイント】

・施工計画に変更が生じた際は、必ず監督職員と協議する。 など

発生日時	平成 21 年 11 月 19 日 (木) 10 時 50 分			天候	雨
工事情報	河川系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	水道管(50給水管)破損	
事故概要	パワーブレンダーにて地盤改良中、埋設されていた水道管(50給水管)に刃が接触し、破損させたもの。				

事故発生状況



・事前に入手した占用図面(上図)にて、水道管が埋設してあることを確認。
 ・両サイドに分岐柵があったため、試掘を行い、管路の方向を**想定**した。
 (分岐柵間140mについては試掘無し)
 結果、地盤改良中に埋設管に接触し漏水が発生した。

【事故発生原因】

・分岐柵の試掘のみで埋設状況を推定し、工事を行っていること。

【事故防止のポイント】

・埋設が予想される箇所については必ず管理者の立ち会いを受ける。
 ・中間点にて断面方向の試掘を行い、埋設深さ・位置の確認を行う。 など